

平成29年度 修了式 式辞

今、それぞれの学年の代表に、「修了証」を渡しました。見た目は毎学期の終業式にもらう通知表と同じですので、皆さんはきっとこれを「通知表」と言うでしょう。家の方も、「通知表、どうだった」と聞かれると思います。でも、一年の終わりに渡す通知表は、中はこれまでと同じでも、表紙、みんなの名前が書いてある方を表紙と考えると裏表紙かな、そこに「修了証」と書いてあり、学校の四角い判と担任の先生の印が押してあります。「修了」という言葉を聞くと、終わるという漢字の「終了」を思い浮かべる人がほとんどだと思いますが、この「修了」は修めるという意味です。

修める。そう、この一年、それぞれの学年で、新しい英語の単語を覚えたり、漢字が書けるようになったり、また、公式や重要語句を使えるようになりました。体育などでは新しい技なども身につけました。勉強だけではなく部活動でも、その種目、その学年に応じたプレーができるようになりました。友達との関係もそうです。それを学校生活のさまざまな場面で見ることができました。昨日の大そうじではみんな一生懸命に掃除をしてくれましたし、今朝の教室では、2年生を中心に黒板に「一年間ありがとう」というメッセージもいくつか見られました。こんなところに皆さんの成長を感じます。

しかし、それはテストで言えば「平均点」と同じで、弥富中学校全体としてそう成長したということで、一人一人は当然違います。僕はここはよくがんばったけど、こっちはあんまりできなかったな。と思う子も多いと思います。どちらかといえば、それが普通です。すべてが完璧にできた子はいないのではないのでしょうか。だから、そこを補う必要があるのです。また、不得意分野をがんばるだけでなく、得意なことを伸ばすということも大切です。

それができるのが、この春休みだと思います。短い休みですが、ここをぼーっと過ごすのと意識をもって過ごすのでは、来年が大きく変わってきます。皆さんは、今はそこに座っていますが、4月には6mうしろに下がります。1年生は2年生に、2年生は最高学年になるのです。ぜひ、有意義な春休みを送ってください。

長い休みに入る時にいつも言いますが、交通事故や自分で命を落とすようなことのないよう、元気な姿で入学式・始業式を迎えられることを楽しみにしています。最後になりましたが、何人かの先生たちはこの3月でおやめになられたり学校をかわったりします。以前は離任式とってお別れのあいさつをする場がありましたが、今はそれもあります。しかし、今日それを発表することはできませんので、3月30日の新聞で確認をしてください。

では、また4月に会いましょう。これでお話を終わります。